

# 深ポリ！ 企業のチカラ

## 第7回 株式会社 田島組

今回は、株式会社田島組を「深ポリ！」対応していただいたのは、代表取締役社長 田島功輔さん、技術者の川原佑太さん、事務の筒丸菜奈加さんです。



ちなみに県建設業協会では、鹿児島市の未来と一緒に「JOINUS」を合言葉に活動しています。最近では、イベントや説明会などでもよくお見掛けする気がしますが、田島組建設業協会でも土木フェスタなどの体験型のイベントや学校への出張説明会を開催していて、子どもたちにも参加しています。子どもたちにもこの仕事の魅力を感じてもらえたらうれしいです。



▲地面をならす重機・モーターグレーダー。雪の日には、除雪車として入来峠などで活躍し、地域に貢献します。

川(若手も働きやすい環境が整えられてきています。よ。)

筒(私は事務や経理全般を担当しています。)

入社4年目の昨年、初めて現場を任せられました。1すごい！田島社長、これは5年目の活躍がますます期待できますね。田(まさに彼の時代がトライ(到来)ですよ！)

と聞ききました。田(平佐一丁目のスマートハウスや入来町の薩摩川内東交番、少し前になりましたが、入来小学校の体育館も当社が建築しました。いろいろな工事を手掛けていますね。人材育成にも力を入れていて、今後ますますの発展を期待せざるはられませんね。田(昨年創業90周年を迎えました。歴史と伝統をつなぎながら、「総合建設業」として、これからもインフラ整備を通じて皆さんの生活を支えていけるように頑張ります！)



▶庭には創業者である二宮金次郎ではなく田島金助氏の銅像が。よく見ると本物のメガネを掛けている！

株式会社田島組  
所在地 入来町副田  
2186番地2  
☎(44)3144  
http://www.tajima-gumi.co.jp

## 行こうよ図書館へ

### 16ミリ映画を楽しむついでに②

今では懐かしくなった16ミリフィルムによる映画を上映します。暗い部屋で大きな画面に映し出される映像と、カタカタとフィルムが回る音など、独特の魅力がある雰囲気の中、物語やアニメ作品をお楽しみください。

【時】 12月21日(金) 14時~15時  
【所】 中央図書館3階 研修室  
【内容】

- ▶「生きてます、15歳。500gで生まれた全盲の女の子」
- ▶「お母さんの卵焼き」

お母さんの卵焼きを通して、主人公が父母の深い愛情に気付いていく物語「吉四六どん」

吉四六という賢い子どもが、知恵比べで大活躍する話

▼「心の花たば」

石だらけで人の心も冷たい町を変えようと、花の種をまき続けたおじいさんと女の子の話

【対象】 11歳以上でも可  
【定員】 11先着30人  
\*参加無料

【問合せ】 中央図書館  
☎(22)3542

### 読書を愉しむついでに③

日頃読んでいる絵本や一般書などで、感動したこと、印象に残ったことなどについて語り合い、新しい本との出会いを見つけませんか。

また、今回は本の成り立ちを知るため、ミニ本制作も行います。

【時】 平成31年1月19日(土) 10時30分~12時30分  
【所】 中央図書館3階 研修室  
【対象】 小学校5年生以上  
【定員】 11先着6人  
【申込方法】 電話  
【申込開始】 平成31年1月4日(金) 10時30分  
【準備する物】 紹介したい本(2冊まで)  
【申込・問合せ】 中央図書館  
☎(22)3542



### 読書の世界が広がるオーディオブック(朗読CD)

薩摩川内ロータリークラブから寄附をいただき、オーディオブックを購入しました。

オーディオブックは「聞く本」として、障害のある方や活字を読みづらくなっ

た方に活用されており、各分館でも中央図書館から取り寄せて利用できます。

【主な作品】

- ▼銀河鉄道の夜(宮沢賢治)
- ▼老いて新しい自分と出会う(吉沢久子)
- ▼鉄道員(浅田次郎)
- ▼ボクは坊さん。(白川密成)
- ▼舞姫(森鷗外)
- ▼料理の第一歩(北大路魯山人)
- ▼みだれ髪(与謝野晶子)



### わくわく薩摩川内土曜塾「わくわく図書館」

【時】 12月22日(土) 10時~11時  
【所】 中央図書館3階 研修室  
【内容】 アニメ映画の上映  
大男とクリスマスツリー  
すてきなコンサート  
▼よっちゃんの不思議なクレヨン  
【対象】 中学生以下(保護者同伴可)  
【定員】 11先着30人  
\*申込不要  
\*参加無料

【問合せ】 中央図書館  
☎(22)3542

### 東郷分館から

### 今月のおすすめ本

あやし草紙  
三島屋変調百物語  
伍之続  
宮部 みゆき 著  
(KADOKAWA)

江戸で人気の袋物屋である三島屋で続けられる「百物語」。特に怖いと評判の「開けずの間」をはじめ、人間の欲望や弱さ、優しさを感じられる江戸怪談「三島屋」シリーズの第5弾。

最後まで、あるがまま行く  
日野原 重明 著  
(朝日新聞出版)

初めての車椅子、誕生日を迎える喜び、先に亡くなった妻への思い。自らの老いと死を受け止めながら、どう前を向いて過ごすか、亡くなる直前まで書き続けた最後のエッセー。

絵物語  
古事記  
陽子 浩二 文  
富安 山村 絵  
(偕成社)

「ヤマタノオロチ退治」や「いなばの白ウサギ」は、実は全部つながった一つの物語だった！歴史書「古事記」を挿絵と生き生きとした文章でつづった絵物語。

ツリーハウスがほしいなら  
カーター・ヒギンズ 文  
エミリー・ヒューズ 絵  
千葉 茂樹 訳  
(プロズ新社)

木の上で暮らせるなら、どんな家を作る？木は高い木？木が低い木？水遊びができて、夜更かしを楽しめたり、大胆な発想で夢のようなツリーハウスが楽しめる一冊。